

ほけんだより

11月号

令和元年 11月

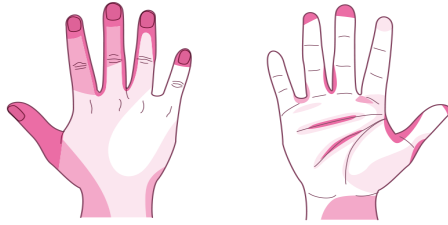


気温が下がり、空気が乾燥する季節がやってきました。インフルエンザやノロウイルスは空気の乾燥を好みます。本格的な冬がくる前に手洗い・うがい、規則正しい生活リズム、バランスの良い食事をこころがけて、感染症を跳ねのけましょう。

10月16日(水)に嘱託医の百瀬医師による全園児対象の秋の健康診断が行なわれました。静かに胸の音をきいてもらいました。受診したお友だち全員が問題なし、との結果でした。みんな良かったですね。お休みしたお子さんは次回11月13日(水)午後からの予定です。

手洗いってどうして大切なのでしょう？

私たちがウイルスに感染する原因の多くが、手に付着した微生物が物品に付着し、そこからまた手を介して鼻や口、目から体内に入ることです。手から手へと拡がり、それが感染拡大のきっかけとなります。そして爪が伸びていると、手洗いの効果も期待できなくなります。



■最も洗い残しがある部分
□次に洗い残しがある部分

感染症対策

保育園では、感染症対策として、正面玄関に手指消毒剤を設置しています。子どもたちと一緒に手洗い・うがいを積極的にがんばります。保育室内の湿度管理、空気清浄、次亜塩素酸水を使用して園内を清掃します。ご家庭でも感染症対策やってみましょう。

10月の感染症

RSウイルス感染症...1名
流行性角結膜炎...3名

近隣の小学校でインフルエンザが発生しています。予防に努めましょう。

3歳児クラス、4歳児クラス、5歳児クラスを対象に「手洗いの大切さ、汚れが残りやすい部位」の話をしました。ご家庭でも、外出後、食事前、トイレ後の手洗いを意識的にやってみましょう。

